

事業報告書

団体名： AngelSmile 21

1. メニュー名	(1) スタート事業 該当するメニューを○で囲んでください (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	ダウン症児・者育成に伴うふれあいと交流の場づくり
3. 実施場所	亀岡市内全域
4. 実施期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
5. 目的と課題	支援金申請書に書いた、申請事業の目的と設定した地域の課題を改めて記入してください。
<p>亀岡市において現況、ダウン症児が産まれてから療育・訓練等の支援を受けられる施設がなく、花ノ木医療福祉センターを頼らざるを得ない状況にある。しかし、現在では、花ノ木医療福祉センターにおいても療育・訓練を受けられる状況が厳しくなっており、子ども達の成長が危惧されている。</p> <p>このような環境を少しでも改善するべく、AngelSmile21 を立ち上げ子ども達それぞれが地域社会に向けて自立できるように様々なイベントを通じてふれあいができる交流の場づくりが必要である。</p>	
6. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など)
<p>(1) 農業体験 令和2年6月6日(土)</p> <p>参加者 ・会員9家族(27名) ・放課後等デイサービス・児童発達支援事業所</p> <p>会 場 東別院町小泉</p> <p> ・「さつまいも」と「枝豆」の苗植え ・保護者間における交流 ・ダウン症児・者と健常者との交流</p> <p>(2) 農業体験(収穫祭) 令和2年11月1日(日)</p> <p>参加者 ・会員14家族(39名) ・京都府議会議員中村正孝氏 ・亀岡市議会議員齊藤一義および大塚建彦氏 ・放課後等デイサービス・児童発達支援事業所ジョイアスリビング</p> <p>会 場 東別院町小泉</p> <p> ・「さつまいも」掘り ・「えだまめ」のもぎ取り ・「だいこん」引き ・「枝豆の塩ゆで」「ふかしいも」「大根の豚汁」料理体験</p>	

- ・「じゃんけん」大会
- ・大型紙芝居
- ・保護者間における交流
- ・ダウン症児・者と健常者との交流

(3) リーフレットの作成と各事業所への配布

役員会の開催：7/21（内容について） 8/1（概要について）
 8/29（原稿について） 9/4（校正について）
 9/21（最終校正について）

作成枚数：5,000枚

配布先：亀岡市（教育委員会・健康福祉部障がい福祉課・亀岡市保健センター BCome+
 南丹市（教育委員会・福祉健康部社会福祉課、保健医療課、子育て支援課）
 社会福祉法人亀岡市社会福祉法人・社会福祉法人南丹市社会福祉法人
 花ノ木福祉医療センター・まついこどもクリニック・市内産婦人科
 放課後等デイサービスセンター5事業所

内容：社会貢献活動として、会員それぞれが手分けをして、会則の目的を説明した
 上で各関係機関や事業所に置いていただき、新規会員の獲得をはかった。

(4) イオニアカードの配布

配布先：会員18人

内容：株式会社セイチョー様から子ども達の健康増進を目的として寄贈いた
 だいたイオニアカードは、様々な空気トラブルから回避するために
 空気清浄アイテムとして身に着けるものであり全会員のダウン症児・
 者に配布した。

(5) ペーパークラフトの配布

配布先：会員18家族

内容：「ひな祭のペーパークラフト」を全会員へ配布した。

(6) 勉強会（総会後における記念講演）令和3年3月7日（日）

参加者：会員15家族（40名）

- ・京都府議会議員中村正孝氏
- ・亀岡市議会議員齊藤一義および大塚建彦氏
- ・花ノ木福祉医療センター長寺田直人氏
- ・放課後等デイサービス・児童発達支援事業所ジョイアスリビング
- ・亀岡市社会福祉協議会
- ・南丹市社会福祉部福祉医療課

講師：作業療法士博士（教育学）こころの発達アテンダント認定講師
 丹葉寛之氏

内容：「生まれてから自我の充実までの発達と関わり方」
 パワーポイントにより約1時間40分の講演をいただいた。

7. 成果と課題	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>本年度は、新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が2度も発令され、計画していた活動を自粛しないといけない状況が続きました。</p> <p>その中において、役員会を定期的開催し新型コロナウイルス感染拡大の状況を基にコロナ禍においてできる活動を常に計画・実施したところである。</p> <p>屋外活動として2回実施した農業体験イベントでは、多くの会員の参加と支援いただいている当会の相談役も参加いただくことができ、期待以上の交流会が実現いたしました。</p> <p>また、健常者と活動をすることで相互扶助が生まれ家庭だけでは得られない部分も多々あり、会員からは会の存在と目標について確信を得られたところである。</p> <p>一方、AngelSmile21 をPRする広報活動においては、念願のリーフレットを当会の支援機関・団体の協力のもと作成することができ、関係機関・病院・事業所に置くと共に、ホームページの開設・Instagram・FacebookによりPRに努めた。</p> <p>なお、本年度の新規会員は2会員でありました。</p> <p>勉強会では、総会の記念講演として作業療法士博士による「生まれてから自我の充実までの発達と関わり方」について講演いただき、大変多くの会員から良い講演であったと評価をいただきました。講演が終了してからも、たくさんの方がそれぞれの悩みや心配事について相談されていました。</p> <p>本年度、当会に助成いただいた企業は1企業であり、個人は2名の支援者であり、徐々に当会の主旨を理解いただいた証でもあります。</p> <p>課題としては、1つ目として当会を末永く存続するためには、役員体制の整備をはかり運営することである。2つ目は、会員の年齢層が広いためそれぞれの年齢層に応じた活動を今後どうするのかである。</p>	
8. 今後の展開	事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。
<p>(1) 総会において会則の改正と役員改選をおこない新たな役員体制を構築する。</p> <p>(2) 将来的に就学前・低学年・高学年・中学・高校・成人層に分類し、子どもの成長に合わせた活動を展開する。</p> <p>(3) 亀岡市との連携によるダウン症児・者への支援の充実をはかるため、亀岡市における関係する部署との意見交換会を実施する。</p>	

9. 協働の効果	<p>今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。</p> <p>※市民連携事業に関わらず、他団体との関わりがあった場合は記入してください。</p>
<p>一般企業である株式会社セイチョー様からの呼びかけで、交通安全・安全運転対策の一環としてダウン症児・者が描いた絵を会社の営業車にプリントしたい旨をいただき、会員2名の絵を提供した。</p>	

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。



農業体験

～秋の収穫祭～

日時：11月1日10時～
(小雨決行・警報発令時は11月3日)

場所：東別院町小泉大道 入口の公園

持ちもの：スコップ・軍手・タオル・収穫物を入れるビニール袋
白ごはみおにぎり(当口、豚汁を作ります)

♪ 大型紙芝居等 おたのしみ色々♪





